

# 除草剤

ブタミホス乳剤

# サンケイクレマート®乳剤

農林水産省登録 第17664号

性状：黄色澄明可乳化油状液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

危険物：第四類第二石油類

有効年限：4年

包装：500ml×20

有効成分：ブタミホス (PRTR・1種)・・・50.0%

除草剤分類 **3**

クレマート®は住友化学㈱の登録商標です。

## 特長

- メヒシバ、スズメノカタビラ等のイネ科雑草だけでなく、アブラナ科、ナデシコ科等の多くの広葉雑草にも有効です。
- 本剤のガス作用は極めて少ないため、ハウス栽培、トンネル栽培やキャップ栽培等でも使用できます。
- 本剤は土壌吸着が強く、土壌移行性が小さいので、移植栽培に適しています。
- にんじん、らっかせい、パセリでは、は種後発芽前処理で使用できます。

## 適用雑草名および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	ブタミホスを含む 農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
メロン、すいか 漬物用すいか 漬物用メロン かぼちゃ	一年生 雑草	定植・マルチ前 (雑草発生前)	200～ 400ml	100～ 150ℓ	1回	全面土壌 散布	1回
レタス なす		定植前又は 定植・マルチ前 (雑草発生前)					
キャベツ きゅうり、いちご		定植前 (雑草発生前)					
ねぎ わけぎ あさつき		定植活着後 (雑草発生前) 但し定植 10 日後まで					
ばれいしょ さといも にんにく らっきょう やまのいも		植付後萌芽前 (雑草発生前)					
らっかせい にんじん		は種後発芽前 (雑草発生前)					
こんにゃく		植付後又は培土後 (雑草発生前) 但し収穫 120 日前まで					
ブラジオラス		植付後 (雑草発生前)					
つつじ類		植付後又は生育期 (雑草発生前)					
きく (ポットマム)		定植後 (雑草発生前)					
たまねぎ	アメリカ ネナシカ ズラ	定植後 (雑草発生前期まで)	全面土壌 散布	1回			
アスパラガス	一年生 雑草	春播栽培の定植後 (雑草発生前) 但し収穫 60 日前まで					
	一年生 雑草	秋播栽培の定植後 (秋季の雑草発生前) 但し収穫 60 日前まで					
アスパラガス	一年生 雑草	萌芽前 (雑草発生前)					

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	ブタミホスを含む 農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
ピーマン とうがらし類	一年生 雑草	定植前 (雑草発生前)	200～ 400mℓ	100～ 150ℓ	1回	全面土壌 散布	1回
はくさい とうがら ブロッコリー			200mℓ				
パセリ		200～ 400mℓ					
うど		定植後出芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)	200mℓ				
		定植前 (雑草発生前)					
ひろしまな		株養成期 (地上部なし) (雑草発生前)	200～ 400mℓ				
わらび		植付10日前まで (雑草発生前)	200mℓ				
たばこ (折衷マルチ栽培)		は種後出芽前	300～ 400mℓ				
ケナフ							

### 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は雑草発生前処理の効果が大きく、雑草が大きくなってからの処理では効果が劣るので適期に処理してください。
- 多年生雑草、キク科雑草およびツユクサには効果が劣るので、それらが優占する圃場での使用はさけてください。
- 土壌が極度に乾燥している場合は効果が劣るので土壌が適度の水分を含んでいる時に使用してください。また程度の過湿条件下では薬害の起こることがあるので使用をさけてください。
- 砂質土壌では薬害を生じやすいので所定量の範囲内で少なめの薬量を使用してください。
- 播種又は植付後は碎土、整地、覆土はていねいに行い均一に散布してください。
- 作物の生育中に散布する際はできるだけ薬剤が作物にかからないように注意してください。
- 定植前処理の場合、薬剤のかかった土壌が作物の根にふれないように注意して定植を行なってください。
- たまねぎに使用する場合、春先などの気温が高くなる時期の散布は薬害を生じるおそれがあるので十分に注意してください。
- 秋播たまねぎの春季処理は、薬害を生じるので使用しないよう十分注意してください。
- はくさいの場合、定植後に激しい降雨があると薬害を生じることがあるので処理時期に注意してください。
- たばこに使用する場合、薬害を生じることがあるので植付時に処理土壌が茎葉に接触しないように注意してください。またトンネル栽培および改良畦面栽培では使用しないでください。
- 散布の際、付近の他の作物にかからないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

### 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 本剤による中毒の治療法としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の併用投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

## 水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。  
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## 保管に関する注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。